

かつやま 12月定例会報告

# 議会だより

2024.1.25  
No.90

委員会報告……………P 2  
一般質問……………P 5  
審議結果……………P11



冬の平泉寺

なるとう きょうすけ  
(撮影：地域おこし協力隊 成東 匡祐氏)

# 議長、各委員会委員が 変わりました

12月定例会において、議長および委員会の構成が変わりました。

## 議長



松山 信裕  
(まつやま のぶひろ)  
芳野町

市議当選5回。これまでに議長、副議長、新中学校建設特別委員長等を歴任されました。

## 議会運営委員会

- ◎ 竹内和順
- 浦上雄次
- 森 孝一
- 安岡 孝一
- 下道 恵子
- 帰山 寿憲

## 大野・勝山地区広域行政 事務組合議会議員

- 安岡 孝一
- 竹内 和順
- 下牧 一郎
- 下道 恵子
- 山田 安信

## 常任委員会報告

### 総務文教厚生委員会

審査の結果、議案15件について  
全て可決しました。

### 介護保険制度について

補正予算の審査と第9次勝山市老人福祉計画・介護保険事業計画(案)の説明を受けるなかで、介護士増員のための補助や育成について、議論されました。

### 障害者施策について

手話言語条例の制定について及び第7期勝山市障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の概要報告を受けました。

委員会では、障害者が簡便な方法で支援を受けられるような配慮をしてほしいということ、そして、障害者同士がつながり、スムーズにサポートを受けられるような体制整備に向けてどのような支援が必要か、いろいろな意見や提案が出されました。

### 建設産業委員会

審査の結果、議案12件について  
全て可決しました。

### 下水道事業の地方公営企業法 適用に伴う関係条例の整理に 関する条例の制定について

これまで下水道事業会計には繰入基準に基づいた一般会計からの繰り入れに加え、政策的になされていましたが、公営企業会計化された後も下水道使用料に跳ね返らないよう求める意見がありました。

また、農業集落排水事業については、今後下水道事業に統合する際に、会計制度変更による不利益が生じないか調査を求める意見がありました。採決の結果、原案が可決されました。

### 青果市場新設について

現在の若猪野青果市場については、令和6年度をもって廃止を予定し、勝山市道の駅「恐竜渓谷かつやま」隣接地に、勝山市観光まちづくり株式会社が地元農産物の販売や飲食施設を併設した青果市

場を新設する計画が示されました。これについて委員からは、これまでの市場経営のノウハウを活かし、しっかりと移行が出来る体制を整える必要があるなど、様々な意見が出されました。

### 予算委員会

### 原油価格高騰対策事業について

昨年度同様、石油製品の高騰による経済的負担軽減を図るため、市内全世帯に対し、市内の石油製品取扱店等で燃料の購入の際に使用できる燃料購入助成券を世帯主へ配布します。総事業費は、63,785千円であり、詳細は左記のとおりです。

#### (1) 助成額

住民税課税世帯…1世帯あたり

1枚1,000円×4枚+

世帯1人あたり1枚1,000円

※住民税非課税世帯については、  
右記金額の2倍とする。

#### (2) 使用期限

令和6年2月29日(木)

## ◆住民非課税世帯に対する臨時特別給付金について

令和5年11月2日に政府閣議決定された「デフレ完全脱却のための総合経済政策」において、低所得世帯(住民税非課税世帯)支援として、1世帯当たり7万円が追加支給されます。

- (1)支給対象者 令和5年度分の住民税が非課税である世帯
- (2)支給額 1世帯当たり7万円追加
- (3)申請期限 令和6年2月29日(木)

(基準日は令和5年12月1日。対象世帯数は1,700世帯。予算額は119,000千円(国庫負担10/10) )

## 特別委員会報告

### ◆新中学校建設特別委員会

新中学校の制服や体操服の選定については、納入業者を選定するための募集要項を確認しました。

また、勝山市立中学校建設基本設計について、設計業務を受注した業者から直接意見を聞き、議論しまし

た。委員からは、さまざまな意見が出されましたが、特に、校舎周りの除雪や屋根雪の処理などの雪対策について多くの意見がありました。

12月13日の特別委員会では、勝山高校の建設予定地を現地視察するとともに、中高一貫教育校に対する見識を深めるため、福井県立高志高等学校校長の山内悟先生をお招きし、「ご意見を伺い、委員からの多くの質問に答えていただきました。

また、令和6年1月10日には、中高一貫教育校の校長のご経験もある、愛知工業大学の中嶋哲彦教授をお招きし、「ご意見を伺うことを確認しました。

今後も勝山市の将来を担う子どもたち一人ひとりがいきいきと活動できる安全安心な学校が建設できるよう、議論を重ねていきます。



講演会の様子

## ◆決算特別委員会

認定第1号「令和4年度勝山市歳入歳出決算の認定について」を認定、認定第2号「令和4年度勝山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について」を可決並びに認定としました。

### ◆認定第1号 「令和4年度勝山市歳入歳出 決算の認定について」

予算案の審査や討論で指摘した問題点と課題が改善されずに執行されているとして、道の駅隣接の「産業団地」は事前着工すべきでない指摘したにもかかわらず進出計画が進まない問題、ゆめおーれ等の指定管理制度について、コロナ禍での対応などを考慮して指定管理の適用の是非を含めて検討すべきであるのに実施していないこと等が指摘されました。

また下水道事業特別会計では、雨水事業など一般会計事業で負担するとしているが、この原則にもとづく会計処理が行われていないこと等が指摘されました。

### ◆認定第2号 「令和4年度勝山市水道事業会計 利益の処分及び決算の認定について」

リゾート事業に関する開発者負担金と、統合された簡易水道事業での一般会計からの繰入金のあり方について、必要な対策が実施されていないこと等が指摘されました。

### ◆その他、審査経過において 出された主な意見

令和4年度は、市制始まって以来の未曾有の大規模災害にみまわれ、決算の状況にも大きな影響を与えています。また、新型コロナウイルス感染症対策がひと区切りし、アフターコロナを見据えた積極的な事業の執行に努められたことは、決算の状況からも伺えます。

今後の予算編成や執行においては、審査の過程において、その都度、指摘した事項も含め、誠意を持って対応されるとともに、健全な財政運営を堅持しつつ、市民福祉の向上と活力あるまちづくりに向けて邁進されることを望みます。

## ◎歳入歳出決算について

### 1、一般会計について

- (1) 職員研修については、資格取得等の職員能力向上とともに市民サービス向上やボトムアップなどの取り組みもさらに強化されたい。
- (2) 旅費規程については、正職員だけでなく、会計年度任用職員も含めて、実態を見据えて見直しを検討されたい。
- (3) 公文書の管理については、保有する文書だけでなく、保有すべき文書の不存在等の課題についても、積極的に取り組まれたい。
- (4) 市役所周辺の整備については、今後、具体化にあたって、対象施設や整備方針などについて、市全体のバランスを考慮しながら長期的な展望をもって進められたい。
- (5) わくわくクラウドファンディング支援事業については、事業の継続性や効果などを考慮して運用されたい。
- (6) 地域公共交通対策については、フルデマンドバスなど新たな取り組みも実施されているが、運転手確保などの諸課題についても自治体連携等により積極的な対策を検討されたい。
- (7) 地域防災の体制を構築するため、区長等の地域役員の役割と適

切な身分保障等について関係機関と連携して対策を図られたい。

- (8) 結婚相談事業については、時代の変化に対応して、民間事業者の活用も検討しながら利用者の増加につながるような対応を検討されたい。
- (9) 地域を支える世代ごとの団体の活動は、地域の活力にとって重要であることから団体等への助成の見直し等、活動が活性化するような方策を検討されたい。

- (10) 福井勝山総合病院は二次医療圏の拠点病院であり、関係自治体との連携の強化が図られるよう努められたい。



福井勝山総合病院

- (11) 企業誘致などの事業は、産業構造の変化などに対応し、勝山市の特質を生かした取り組みを積極的に推進されたい。

- (12) 観光関連事業については、観光の

産業化のためにも、民間活力を引き出す施策を工夫して実施されたい。また、市として直接実施すべき対応についても検討されたい。

- (13) 勝山市都市計画は、市民生活の実態との整合性などを考慮した用途地域の見直し等、適切な対応を早期に図られたい。
- (14) 県道改良事業負担金は、全国知事会の政府要望に連動して、県道も含めた見直しを関係自治体とも連携して積極的に対応されたい。

- (15) 新中学校の建設については、市民の理解と納得を得るよう、慎重に対応されたい。
- (16) 国際交流事業については、国際情勢の変化や市内定住外国人との交流などを踏まえ、今後の国際交流のあり方を再検討されたい。

- (17) 地区文化祭への助成については、人口規模、事業内容を考慮して検討されたい。
- (18) 林道及び遊歩道の維持管理について、保険加入や安全管理の徹底など必要な対応について検討されたい。また、事業の継続についても検討されたい。

- (19) 指定管理制度については、コロナ禍での対応に様々な課題が明らかになった。今後は、指定管理制度の適用については、十分留意されたい。

### 2、下水道事業特別会計について

- (1) 下水道事業特別会計の一般会計からの繰入については、十分留意されたい。
- (2) 尿処理事業と農業集落排水事業を公共下水道事業と統合する課題は事業の効率化等から理解できるが、公的負担と利用料金のあり方については従前の公的負担を踏襲して適切に対応されたい。

### 3、国民健康保険特別会計について

- (1) 国民健康保険税は子どもに均等割で賦課されており、これを廃止する必要性は国と地方の共通認識であり、勝山市としても早期の制度改善を強く要請されたい。また国民健康保険制度は、セーフティネットとしての役割を考慮した公的支援等が不可欠であることから、さらなる改善を国や県に要請されたい。

### ◎水道事業会計決算について

- (1) 水道事業については、過疎地域での「受益者負担」は課題が多く、支援制度の復活や充実が必要であり、関係機関などへの要請や勝山市独自の支援なども検討されたい。



○ 租税教育について  
○ 介護職員の人手不足について

その他の質問  
・観光について

新風会・公明  
吉田将克  
議員



議 次代を担う園児・児童・生徒等への勝山市における租税教育は現在どのように取り組まれており、今後はどのように取り組まれるのか伺う。

理 小中学校では勝山市租税教育推進協議会と連携して租税教室を実施している。税がどのように使われているか、もし税がなくなったらなどについて、担当者から話を聞いて皆で話し合うことで、税に対する理解を深められるようにしている。就学前児童に対する租税教育としては、奥越納税貯蓄組合連合会の方が、これまで市内保育園や認定こども園の5か所で紙芝居による租税教室を開催している。金銭そのものへのなじみが薄く、社会制度について知識の不十分な就学前児童や小学校低学年・中学年のこともが、租税について理解することは困難であるため、今後もそれぞれの発達段階に応じた租税に関わることに触れる機会を設けることで、租税について理解し、地域社会に関心をもち、積極的に参画していくことができないこどもの育成に努めていきたい。

議 介護職員の確保を行うために、現在の「勝山市医療、介護及び障害福祉人材確保奨励金交付事業」の交付額の拡充や要件の緩和を行うことが有効であると考えるが、どのように取り組まれるのか伺う。

理 介護職員の人手不足解消を目的に、本年度から人材確保奨励金交付事業の対象者を拡大し、新たに市外在住者、中途採用者の方も対象とした。また、令和4年度から外国人介護人材確保奨励金交付事業を行い、市外からの転入をとまなう外国人介護人材の雇用等が円滑に行われるよう、市内の介護事業所を運営する法人に対し奨励金を交付している。今後の人材確保対策は、市内の介護事業所の実態を把握し、福祉医療専門学校の取組と介護施設をつなぐ情報交換の提供や介護初心者研修を引き続き勝山市で開催するなど、介護人材確保に向け支援できることを研究していく。現時点では人材確保奨励金交付事業の制度を継続し、事業内容については社会情勢に合わせて検証していきたい。



○ 「デフレ完全脱却のための総合経済対策」における物価高対策について  
○ 勝山市の「こどもまんなか社会」について

その他の質問  
・HPVワクチンについて  
・福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校の視察を終えて

新風会・公明  
安岡孝一  
議員



議 「重点支援地方交付金」の住民税非課税世帯への7万円の給付について、物価高の影響を最も受けていると思われるが、早期に予算化を行い迅速に給付して頂きたい。そして、減税や給付が受けられない「はざま」の方に対して、内容が決定した場合は早急に実施すること。また、「重点支援地方交付金」の予算追加分について、推奨メニューが示されているが、当市の実情に合わせて年内の予算化をお願いしたいが、市の所見を伺う。

議 子ども政策の司令塔として「こども家庭庁」が4月に創設された。当市においても、国の取り組みが加速して、子育てに関する切れ目のない経済的支援等を追い風に、子どもへの幸せを第一に考える「こどもまんなか社会」の実現へ、どのような取り組みをされるのか。市の所見を伺う。

理 住民税非課税世帯への7万円の給付は、年内に支給できよう進めている。12月補正予算案において燃料等価格高騰対策として原油価格高騰対策事業補助金を、障害者施設、高齢者施設等に食料品価格高騰対策として社会福祉施設食材費高騰対策支援交付金を計上している。その他、給食食材高騰対策、農林業における物価高騰対策支援、消費下支えを通じて生活者支援にも取り組んでいる。今後も推奨事業メニュー分について早期に検討し、市の実情に応じた必要な支援をしていきたい。

理 令和6年度より、こども課にこども家庭センターを設置し、結婚、妊娠、出産、子育てまで切れ目ない支援を行っていく。また、国が示している児童手当の拡充の実施や、県が令和6年9月より実施予定の第2子の保育料無料化に時期をあわせ、勝山市独自に第1子から保育料完全無料化を予定している。さらに今後、0歳から18歳までの全世代を対象とした新しい給付制度を検討していく。

理 幼児教育については、私立園と幼児教育の質の向上を図るとともに、教育委員会に子ども関連部門を一本化した効果による就学前の連携を強化し、幼児教育と小学校の接続の充実を図っていく。



### ○ 人手不足について ○ 勝山高校とまちづくりについて

#### その他の質問

- ・ とも家庭庁の取組に対する市のとも政策について
- ・ 地域文化財総合活用推進事業について

新風会・公明  
竹内和順  
議員



**議** 日本の人手不足は年々深刻化しており、勝山市のような地方は特にその影響が大きい。その解決方策としては、企業自身に求められるもの、行政として何かできないものか。勝山の活性化は企業が元気になることに尽きると思う。人手不足の方策として市の見解を伺う。

**理** 市は中小企業診断士、そして勝山商工会議所とともに、相談のあった事業所に対して、産業フェアでの企業PR、SNSを活用した情報発信、県内高校や大学等への売込みなど、それぞれの事業所に合わせた対策を助言している。

その他、市内事業所でのインターンシップの受け入れや、ウェブ企業説明会・面接会等を行っており、中でも令和2年度から開始しているウェブ企業説明会・面接会がきっかけとなり市内の事業所に就職された方も始めている。市も、市内事業所の活性化が市の活性化につながることを十分に認識しており、今後も人材確保の対策について、継続して事業所と協力しながら、個別に対応していく。

**議** 中山間地域の定住人口維持要件として、高校の存続・存在が大きな影響を持つと言われている。このところ勝山高校の定員割れが続いていることを危惧する中、勝山市立新中学校建設が勝山高校との併設であることを大いに期待しているが、まちづくりの観点から市の見解を伺う。

**理** 新中学校が勝山市の教育の中核となり、中高連携を通じて、中学生が勝山高校の探究学習をはじめとする教育活動に触れ、学ぶことができる。これにより地域への関心をより高め、資質能力の向上に結び付けていくことが小学校の学びに波及し、これまでの小学校の取組をさらに高めへと進ませることができると考えている。

勝山の生徒がふるさと勝山への愛着をベースとし、それぞれの関心に応じて探究活動を深く進めることは、勝山市の持続的な発展にもつながるものと考えている。また、このような活動が市民と子どもたちを結びつけ、若い世代の意見が市政に反映されるなど、まちづくりにつながっていくものと考えている。



### ○ 中学校再編計画について ○ 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた勝山駅のワクワク感について

#### その他の質問

- ・ 小規模多機能自治の周知と具体的な進め方について

優政一心会  
浦上雄次  
議員



**議** 新中学校建設後、地域から学校が無くなった後はやはり移住定住が減っていき、お店などできにくくなると予想されるが、それについて市はどのように考えているのか。スクールバスの具体的な計画は市民にいつ頃提示される予定なのか、市の見解を伺う。

**理** 令和4年6月に策定した「改定」勝山市都市計画マスタープランでは、まちづくり会館等の機能充実による地域コミュニティの維持と活性化を図るとともに、市街地ゾーンとの交通ネットワークを強化し、除雪体制の強化や身近な都市基盤の整備と維持管理を十分行うことで地域での暮らしやすさを高めることを定めている。これら計画の取組の方向性と土地利用の方針に基づき、各地域の特長を生かし、地域とともに持続可能な活力あふれるコミュニティづくりに努めていきたい。

スクールバスについては、12月に第2回のPTA部会を開催し、協議を行う予定である。協議内容はその都度、新中学校建設特別委員会でも報告し、方向性が固まり次第、市民の皆様にも説明していきたい。

**議** 「勝山駅に降り立った瞬間にドキドキワクワクするような駅であってほしい」と令和6年3月16日の北陸新幹線福井・敦賀開業後、えちぜん鉄道勝山駅の利用者は増えると予想されているが、観光客はもろろんのこと、市民も立ち寄れるような駅の活性化が必要だと考えるが今後の取り組みについて市の見解を伺う。

**理** えちぜん鉄道株式会社や地域DMO、周辺の事業者等と連携しながら、ソフト面での恐竜の魅力を感じることができるようイベントの実施など新たな取組についても検討していきたい。また、これまで駅前の賑わいを創出するため、市内の市民団体の方々が主催するマルシェなどのイベントが行われてきたが、そのようなイベント等の開催に対しても、ちよいちチャレ応援事業やわくわくクラウドファンディング応援事業の活用による市民、市民団体による取組を後押しし、全国から県立恐竜博物館を目指して来られる多くの観光客が降り立つ玄関口となるよう活性化を進めていきたい。



# ○ 勝山市定住化促進事業の見直しについて ○ 宿泊税導入について

## その他の質問

- ・Uターン奨励金事業等について
- ・国内や海外からの「リゾートウエディング」誘客について
- ・世界の情勢に対する平和教育について
- ・わくわくクラウドファンディング応援事業について

下道恵子 議員  
市政会



**議** 勝山市定住化促進事業の1つに新築住宅取得に対する補助がある。申請の日付について、工事着工前に申請し、新築完了時は年度末の3月末日となっている。その期限に間に合わなくて補助金の対象にならなかった事例がある。また、40歳以下という年齢条件もあり使いにくいと聞いている。この2つの縛りを外すことができないか市の考えを伺う。

**理** 申請年度の3月末日の期限の変更は、国と県の補助メニューの上に乗って実施している関係から、3月末日までの実績報告を義務付けている。市単独で決めたルールではないが、引き続き、制度全体を柔軟な補助制度になるようには要望を続けたい。市では過去のデータから18歳から39歳までの転出が多く、40歳以下の在住者に対する住宅取得支援が定住化促進に効果があると考え年齢を設定している。しかし、近年定年が延長され、健康寿命が伸びていることを考え、対象年齢の引き上げを検討していきたい。

**議** 北海道のニセコスキー場では、素泊まりの宿泊客に2%の宿泊税をかけている。これにより年間2億円の収入が望めるそうだ。宿泊税はスキー場の環境保護や周辺施設の維持管理に充当されている。今後勝山市も観光客の増加により、ごみ処理費用が増加することもふまえ、宿泊税導入を検討すべきと思うが市の考えを伺う。

**理** 宿泊税は、観光振興事業に要する費用などの財源として既に東京都や大阪府、京都市、金沢市などで導入されているが、県内ではまだ導入の実績はない。市は現在、観光振興を進めており、観光客や宿泊者、そしてインバウンドの増加を優先しており、現時点においては、宿泊税を導入する考えは持ち合わせていない。ただし、将来において導入を検討する場合は、その新税の使い道の明確化はもちろん、新税導入によるマイナスの作用について、宿泊事業者などと意見交換の場を持ち、慎重に判断する必要があると考えている。



# ○ 中学校再編計画の経過について ○ スクールバス運転手確保について

## その他の質問

- ・時間割について
- ・勝山市立中学校再編検討委員会答申について

森かよ子 議員  
優政一心会



**議** 再編計画は、ハード面ソフト面で現在どのような問題を抱えているか。また、中学校再編を20年間議論してきたという事か。そして、平成23年の計画は市民の声が反映され先送りになったが、今回は市民の声が反映されないのはなぜか伺う。

**理** 現在、勝山市立中学校再編計画及び勝山市立中学校建設基本計画に基づき、新中学校開校に向け、より魅力的な新中学校となるよう、様々な点を検討課題として協議を進めている。校舎建設の実施設計の策定を進めるとともに、こども達の活発で主体的な学習活動と安全安心な学校生活の両立を図るための工夫、中高が連携した魅力的なカリキュラムの構築や部活動のあり方のほか、利便性の高いスクールバスの運行方法など、今後もしっかりと検討を進めていきたい。中学校再編は将来の勝山市のこども達にとって望ましい教育環境を実現することを目的に、長年にわたる様々な協議や検討を行ってきた。スタート時には小中学校の望ましいあり方検討委員

会において、将来のあり方を議論し、その後提示した素案について検討を重ねてきた。こうした協議を積み重ねて現在の再編計画や建設基本計画の策定に至っている。勝山市では、当初の予測を上回るスピードで生徒数の減少が進んでおり、令和9年度の開校に向けて準備をしっかりと進め、今後こども達にとって魅力的な学校となるよう意見や要望などいただながら取り組んでいきたい。

**議** 中学校を統合する以上、避けられないのが通学問題であり、スクールバス問題である。そこで、安全安全に運行できる為の運転手確保はどのように考えているか。また令和9年に中学校再編しなくてはならない理由を伺う。

**理** 中学校の再編は、未来あるこども達に一刻も早くより良い教育環境を提供するために進めているところであり、運転手の確保が難しいことで再編を先送りすることは考えていない。今後も、他の検討課題も含め、関係機関と協議・協力しながら開校を目指して鋭意努力していきたい。



○ 市長の政治姿勢について  
○ 子育て環境日本一のまちを目指すことについて

その他の質問  
・勝山市におけるグリーンインフラについて

李 江嵐 議員  
優政一心会



【議】 市長の政治姿勢について伺う。中学校再編について8000人という市民の方々が署名しているという事実についても、きちんと受け止め、理解し、向き合っていたらいい。今後、市民に寄り添い一緒にまちづくりをしていこう。勝山を盛り上げていこうと思っているならば、現在のようないかなか危惧している。今私が言ったような政治姿勢に対する市長自らのお考えを伺う。

【理】 私が重要な政策の立案にあたり、いつも念頭に置いているのは、その政策が市民や関係者にとって必要なものかどうか、現在そして将来の勝山市にとって望ましいものであるかどうかで、市民の福祉向上に資するものなのかどうか。そして、政策の推進にあたり最も重要視しているのは、勝山市議会の議決。

【議】 日本一の子育て環境を確実に実現させるにあたり、具体的な目標やビジョン、ゴールの共有は重要だと考えます。明確な、または具体的な、目標やビジョン、ゴールを伺う。

【理】 また勝山市でも2歳児未満の児童への紙おむつの配給制度を設けることに加えて、市内保育施設では紙おむつを持っていかなくても良くなるよう、また保育士の業務負担軽減の意味でも紙おむつを配給する保育施設支援の施策があつて然るべきだと考える。紙おむつに関する施策は、初期の子育て世代や保育施設の負担軽減に有効だと思うが紙おむつに関する施策を設けることは検討していただけるのか見解を伺う。

【議】 「安心して結婚・出産・子育てができるまち」を政策目標とし、その実現のため、市の独自政策として様々な子育て支援を実施している。どこまでがゴールかというのは、答えが難しい。紙おむつに対する施策については考えていない。

【理】 今後も勝山市議会とともに、将来の勝山市の発展を図り、日々の市民の安全安心、それから子どもたちや高齢者の笑顔を守っていききたい。



○ 勝山市における会計年度任用職員の現状について  
○ 中高連携型勝山市立新中学校の建設について

丸山 忠男 議員  
市政会



【議】 非正規の地方公務員の処遇を改善するためとして導入された、いわゆる会計年度任用職員に対して「雇止め」や低水準の処遇などが県外の一部の市町で問題になっているが、この制度について市長の見解を伺う。

【理】 行政課題が複雑・高度化するなかで、市民の期待に応え、より質の高い行政サービスを提供していくためには、その最前線で業務を担う会計年度任用職員は、現実市政の重要な担い手となっている。市政の安定的かつ能率的な運営を行っていくため、それぞれの職の必要性はもとより、業務の内容や責任の程度などを十分勘案しつつ、今後会計年度任用職員の適正な人員配置に努めていきたい。

【議】 勝山市立新中学校は中高連携型の学校として現在勝山高校の敷地に併設する再編計画が進められている。中高一貫校は入試がないなどの利点があるが、その点を補う工夫について教育長の見解を伺う。

【理】 連携型の中高一貫教育校においては、連携生徒が連携高校へ進学を希望する場合には、学力検査によらない簡便な入試で入学者選抜を実施するということが可能となっている。実際、県内の3地域の連携型中高一貫教育校も、対象の生徒に対して簡便な入試を実施している。ただ、勝山市の新中学校は、市内で1校の中学校となるので特定の連携クラスは設けず、生徒全員が中高連携を生かした教育を行うこととしているので、勝山高校への進学を希望する生徒に係る入学者選抜のあり方については、特色選抜や推薦入試など、他の制度も含め入学者選抜を実施する県教育委員会と協議していきたく考えている。

【議】 非正規の地方公務員の処遇を改善するためとして導入された、いわゆる会計年度任用職員に対して「雇止め」や低水準の処遇などが県外の一部の市町で問題になっているが、この制度について市長の見解を伺う。





○ MICEの誘致について  
○ 自主財源確保と資金調達について

その他の質問 ・映像戦略について ・保護司について

※ MICEとは、MeetingのM、Incentive TravelのI、Convention・ConferenceのC、そしてEventのEの頭文字をとった造語で、ビジネスイベントを総称した呼び方です。

新風会・公明  
松山信裕  
議員



**議** 北陸新幹線開業、中部縦貫自動車道の開通を控えて勝山版の※MICEの誘致を積極的に、勝山市で開催していくことができれば、交流人口の増加と地域経済の波及効果やシティプロモーション効果が非常に高いものになる。民間活力と勝山市の魅力を生かしたMICEの誘致に積極的に乗り出すべき。

**理** MICEの開催は会場使用料や会議での飲食といった主催者による直接的な支出に加え、参加者による観光、飲食など間接的な支出も見込めるため、通常の観光旅行と比べ、経済波及効果が大きいという認識を持っている。今、外資系の企業も勝山市内に来ているので、その関係も重視しながら、直接的なアプローチに加え、県の観光連盟、勝山の商工会議所と連携を密にして取り組んでいきたい。

一方、MICEをやるには勝山市内宿泊のキャパシティが足りない部分もあり、観光誘致における経済波及効果などもしっかりと念頭に置きながら、宿泊施設の誘致活動の必要があると考えている。

**議** ①ふるさと納税の令和4年度の納税額、件数について伺う。また、来年度の寄付金額、件数の達成目標をどのように考えているのか。

**理** ①令和4年度の納税件数は4,182件、納税額は9,700万7,000円ということになっている。来年については、制度がある間は、どんどん上を目指すということ、今年の目標よりも予算上は上回って設定をしていきたい。

②企業版ふるさと納税、人材派遣型については、企業からの寄附に加え、企業からの人材派遣により、密接に自治体の事業にともに取り組むことで、関係の強化や円滑な事業の推進が可能と考えている。

今後は、人口が減少し、少子高齢化がだんだん進むため、将来を見据えあらゆる施策で、企業版ふるさと納税人材派遣型の利用や同制度を念頭に置いた企画事業の立案等について研究をしていきたい。



○ 小規模多機能自治の取り組みについて  
○ 公共交通について

近藤栄紀  
議員  
市政会



**議** 地域のまちづくり、コミュニティの維持にとつては、小規模多機能自治の取り組みが重要である。北郷、遅羽地区以外では小規模多機能自治の取り組みを検討していないようであるが、支援をどのように考えるか。

**理** 全職員を対象に年度内に3班ぐらいに分け研修をした。小規模多機能自治を推進する最前線は、まちづくり会館の館長、事務職員であり、それをバックアップするのが地域担当職員となっている。そもそも公民館として長い間担ってきた社会教育の必要性が徐々に変化していく中で、まちづくり会館を地域づくり、あるいは地域福祉の拠点としていきたい。そのために小規模多機能自治という概念を取り入れ、基本的に地域の区長会を地域の主導的な組織という位置づけにしている。そこにまちづくり会館職員と、地域担当職員が入っていきながら行っていきたい。今年度は相当の地区がウェブ会議や視察などを実施し、真剣に取り組んでいる。全地区でそういったことが進むよう取り組んでいきたい。

**議** 本年度より北郷、野向地区では、フルデマンドバスが運行されているが、市街地を含め他地区のフルデマンド化はいつ、どのように考えるか。

**理** 現状のフルデマンドバスの実績は、2月から10月までの利用者数が北郷予約便全体は前年度比1.8%増、荒土・野向予約便全体は前年度比84.8%増と、どちらの便も利用者数が増加している。両地区の住民を対象に実施したアンケートには、86.3%の方が今後もフルデマンドバスを利用したいと回答しており、利用者の満足度については高い評価をいただいている。これらの検証結果を踏まえ、来年度以降、フルデマンドバスの運行区域を拡大していきたいと考えている。

また、先進事例を参考に、運転手の確保が困難な中で、効率的かつ持続可能な運行形態を研究し、早期に市街地、公共交通空白地域を含めた市内全域へフルデマンド運行地域を順次拡大していきたい。具体的な運行形態や導入時期については案の段階で議会にお示ししていきたい。



○ 中学校の探究学習の内容と勝山高校の敷地内併設の関係について  
○ 市役所職員・教職員の働き方改革の進捗状況について

その他の質問  
・介護福祉の取り組みについて

富士根信子議員  
優政一心会



【議】 中学校と勝山高校との連携がとれていない現状において、学校生活全体の環境を不安にまでなぜ、勝山高校の敷地内に新中学校を建設する計画なのか理解できません。勝山市唯一の中学校がもっと広々とした学び舎になるよう強く望みます。見解を伺う。

【理】 中学生の探究活動は、直面する課題に対して、各教科で学んだ知識や技能を教科横断的に活用して適切に対処していく力を育成する学習で、令和の時代における学校教育において大変重視されている。昨年度から、中高連携を進めるため、高校生が母校の中学校等を訪問する機会が増えた。卒業生が母校である中学校を訪問し、3中学校の執行部との交流を呼びかけるため訪問をしたが移動は先生方の送迎に頼らざるを得ない場所もあり、改めて、学校が近くになれば、このような活動もスムーズにできると実感し、様々な教育活動を効果的に進めるためにも、中学校を勝山高校敷地内に建設するメリットは大変大きいものであると考えている。

【議】 市長が着任してから頻繁に行われた市役所職員の人事異動ですが、本人の意思を明確に記した記録用紙はありませんか。働き方改革の推進には職員用の協働、信頼、助け合いが必要です。頻繁な異動が弊害になり職員の精神安定、業務遂行には不適切です。若手職員に最適な人材のもとで生き甲斐の持てる職場づくりを目指すべきだと考えるが、見解を伺う。



○ 新中学校を勝高敷地に建設する計画の凍結と再検討を求める市民の声について  
○ 新中学校の基本構想や基本計画と、大きな違いがある「基本設計案」について

その他の質問 ・ウクライナやガザでの戦争は、武力で問題は解決せず、国連憲章を守り、日本国憲法の「平和原則」を世界に広めることが、未来志向の理念と行動だ。・人件費削減や大企業減税・消費税増税などで「国際競争力をつけて日本経済は良くなる」という自公政権と補完勢力の「新自由主義」政策が、大失敗した。・新中学校の基本設計案の問題点について

山田安信議員  
日本共産党



【議】 ①市民署名は9月議会以降も増え続けて8000筆を突破し、世帯過半数を超えている可能性が高いそうです。市長と教育長の受け止めを聞く。②市長も教育長も議員も市民も皆が納得する方法は、住民投票で決めて、結果責任も全て市民が負うしかないと考えますが、市長は、この提案を拒否しますか、それとも賛同されますか。

【議】 ①新中学校の基本設計で、突然、勝高グラウンドに野球施設ができず、高校野球は長山グラウンドを使い、中学校野球は勝高グラウンドを使うと説明したが、高校野球がダメなのに中学野球ならできない理由と、高校サッカー部と陸上部は、どうするのか。新中学校を中部中や成器西小などで建設すれば問題は起こらない。

【理】 ①署名活動については昨年の9月頃に始まったのではないかと承知している。この1年3か月余りの間に各説明会や語る会等でいただいた多くの意見を踏まえ協議を重ね、再編計画や基本計画の推進について、広報かつやまなどでの周知を図ることで、ご理解やご支持の声が拡がっていると受け止めている。令和9年の開校に向け、引き続き市民の皆様にお示していくと共に、信頼に添えることにつながるものと考えている。②市民の代表である市議会の議員方と協議・検討を重ねながら進めてまいりたいと考えており、住民投票といった形は現在では考えていない。

【理】 ①部活動の活動場所については、地域移行の動きや少子化を踏まえた検討が必要であり、部活動設置と併せ、県と協議していく。②現在勝高のプールは使用しておらず、今後も利用計画はないと伺っている。基本設計案を今後県に説明し、勝山高校野球部についても協議していく。福井県や福井県教育委員会が了承したことを示す資料は現在はない。

# 定例会審議結果一覧

★ 議員提出議案  
 ■ 表決を行ったもの

## ◆ 議案等

議案番号	議案名	付託委員会	議決結果
認定第1号	令和4年度 勝山市歳入歳出決算の認定について（継続審査事件）	決算	認定
認定第2号	令和4年度 勝山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について（継続審査事件）	決算	可決並びに認定
議案第33号	令和5年度 勝山市一般会計補正予算（第5号）	予算	可決
議案第34号	令和5年度 勝山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	総務文教厚生	可決
議案第35号	令和5年度 勝山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	可決
議案第36号	令和5年度 勝山市介護保険特別会計補正予算（第2号）	総務文教厚生	可決
議案第37号	令和5年度 勝山市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	建設産業	可決
議案第38号	令和5年度 勝山市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	建設産業	可決
議案第39号	令和5年度 勝山市水道事業会計補正予算（第2号）	建設産業	可決
議案第40号	令和5年度 勝山市市有林造成事業特別会計補正予算（第1号）	建設産業	可決
議案第41号	勝山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第42号	勝山市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第43号	勝山市職員の給与に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第44号	勝山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第45号	勝山市立野向町コミュニティセンターの指定管理者の指定について	総務文教厚生	可決
議案第46号	印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第47号	手数料条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第48号	手話言語条例の制定について	総務文教厚生	可決
議案第49号	損害賠償の額を定めることについて	総務文教厚生	可決
議案第50号	勝山市立保育園の設置及び管理に関する条例の廃止について	総務文教厚生	可決
議案第51号	勝山市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の廃止について	総務文教厚生	可決
議案第52号	勝山市道路線の認定について	建設産業	可決
議案第53号	勝山市道路線の変更について	建設産業	可決
議案第54号	勝山市長尾山総合公園「かつやま恐竜の森」の指定管理者の指定について	建設産業	可決
議案第55号	勝山市空家等の適切な管理に関する条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第56号	下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	建設産業	可決
議案第57号	白山平泉寺観光振興拠点の指定管理者の指定について	建設産業	可決
議案第58号	勝山市道の駅「恐竜渓谷かつやま」の指定管理者の指定について	建設産業	可決
議案第59号	はたや記念館「ゆめおーれ勝山」の指定管理者の指定について	建設産業	可決
議案第60号	令和5年度 勝山市一般会計補正予算（第6号）	予算	可決
議案第61号	市税条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第62号	勝山市教育委員会委員の任命について	—	同意

## ◆ 表決結果

※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議案番号	総投票数	投票数		李江嵐	吉田将克	浦上雄次	森かよ子	安岡孝一	富士根信子	竹内和順	近藤栄紀	下道恵子	丸山忠男	松山信裕	帰山寿憲	山田安信	下牧一郎	
		賛成票	反対票															
議案第50号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第51号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第52号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第57号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第59号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長

○=賛成、×=反対、不=不在、議長=議長職（通常は採決に加わらない）

# SKIJAM 30th

昭和50年福井県大森林公園構想の中でスキー場建設が打ち出され、18年後の平成5年12月23日に開業した、スキージャム勝山は30周年を迎えました。西日本最大級のビッググレンデを誇り、最長滑走距離5,800mあり、県内はじめ、関西圏を中心にたくさんの方が訪れる冬の観光地でもあります。



キッズパークの様子

今年は30周年にあたり、エリアを拡大し、ツリーランCコースが登場しました。

また、西日本最大級のキッズパークもエリアを拡大し、リニューアルしました。

さらに、ふわふわのチーズが美味しい「パウダースノーバーガー」やさわやかな甘味の「GOD | VA ショコリキサー黄金の梅」等のフードメニューも追加されました。

その他にも30周年のイベントは盛りだくさんです。

30周年を迎えた冬の勝山を楽しみましょう。

(吉田 将克 記)

## 議会日誌

10月27日 全員協議会、新中学校建設特別委員会、建設産業委員会	27日 新中学校建設特別委員会、決算特別委員会
28日 中部縦貫自動車道大野油坂道路（勝原IC～九頭竜IC間）開通式典、かつやまWakuWaku文化フェスタ、勝山市総合文化祭式典	30日 本会議、全員協議会
30日 決算特別委員会	12月 1日 県下一斉年末特別警戒激励
31日 兵庫県洲本市議会行政視察受入、大阪府門真市議会行政視察受入	2日 スキージャム勝山スキー場開き
11月 1日 大阪府貝塚市議会行政視察受入	6日 本会議（一般質問）、議会運営委員会
6日 第44回森林・林業・木材産業活性化大会	7日 本会議（一般質問）
6日～7日 建設産業委員会視察（三重県いなべ市・伊勢市）	8日 総務文教厚生委員会
7日 香川県小豆島町議会行政視察受入	11日 建設産業委員会
8日 新潟県胎内市議会行政視察受入、暴力追放福井県民大会	12日 予算委員会、決算特別委員会
9日 決算特別委員会	13日 新中学校建設特別委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会
10日 決算特別委員会	14日 日本ジオパーク再認定審査結果
13日～15日 総務文教厚生委員会視察（福島県双葉郡広野町・群馬県沼田市）	15日 暴力追放勝山市民会議理事会
14日 大阪府茨木市議会行政視察受入	18日 全員協議会、本会議、総務文教厚生委員会、議会運営委員会
17日 議会運営委員会	25日 大野・勝山地区広域事務組合議会
21日 福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会	26日 勝山・永平寺衛生管理組合議会
22日 令和5年度勝山市防犯隊秋季錬成大会	1月 9日 議会広報特別委員会
23日 永年勤続優良従業員表彰式	10日 新中学校建設特別委員会
24日 国と地方の協議の場等に関する特別委員会、勝山市雪害対策会議	13日 勝山市食生活改善推進員「60周年記念のつどい」
	15日 議会広報特別委員会
	17日～18日 議会運営委員会視察（福岡県豊前市）
	18日 恐竜深谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会
	19日 福井県市議会議長会議員研修会（小浜市）

## 編集後記

令和6年能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

元日から大変な年明けになりましたが、被災地では沢山の方々が避難所生活を余儀なくされ、今後長期に渡る復興支援が必要となります。

私達もより一層防災の意識を高めていながら、被災地の為にそれぞれが出来る事をやっていけたらと思います。

そして今年は勝山市制70周年の節目となり、先人への感謝と共に市内一丸となり盛り上げていきたいと思っております！

今年も勝山市議会一同、尽力いたします。

(浦上 雄次 記)

### 《議会広報特別委員会》

委員長 丸山忠男 副委員長 李 江嵐 吉田将克 浦上雄次 富士根信子

発行：勝山市議会 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL 0779-88-8100(直通)

編集：議会広報特別委員会 〈URLアドレス〉 <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

〈Eメールアドレス〉 [gikai@city.katsuyama.lg.jp](mailto:gikai@city.katsuyama.lg.jp)



議会中継動画



Facebook